

平成 23 年度事業計画書

(平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで)

当財団は平成 23 年 3 月 26 日で設立 30 周年を迎えた。 これまでに日本の大学の理工系修士課程への留学を希望するインドネシア人青年 107 名を奨学生として採用し、インドネシアでの勉学、研究を希望する日本人青年 41 名を採用した。当財団が毎年採用する数は、インドネシア人 3 名、日本人 2 名と少数厳選主義を貫いている。当事業年度においても公募により選んだ前途有為な青年に奨学支援を行うことをつうじて、国際的な友好親善を増進することへの一翼を担う。

1. 奨学事業

1) インドネシア人奨学生

前年度までの採用者について、当事業年度 4 月に、平成 21 年度奨学生 3 名は大学院修士課程 2 年に進級し、平成 22 年度奨学生 3 名は大学院修士課程に入学し、1 年となる予定である。当事業年度の新規採用者 3 名は、9 月に来日し、それぞれ志望大学で研究生として勉学を開始する。従って、当事業年度は 9 名に対し奨学金を支給する。

当事業年度の支出明細

イ. 平成 21 年度奨学生 (修士 2 年在学者)	960 万円 (3 名)
ロ. 平成 22 年度奨学生 (修士 1 年在学者)	900 万円 (3 名)
ハ. 平成 23 年度奨学生 (新規採用者)	780 万円 (3 名)
小計	2640 万円

なお、首都圏私立大学、修士課程 (理工学研究科) に留学するインドネシア人青年に対し、当財団が来日から帰国までの 2 年 8 カ月の間に支給する奨学金総額は、約 850 万円に達する見込みである。

渡航費 (往復)	エコノミークラス航空運賃
到着金	6 万円
学費等	実費 (修士課程の学費の外に大学院研究生としての学費、日本語学校学費なども対象とする。)
生活費	512 万円 (月額 16 万円×32 ヶ月)
死亡・後遺障害保険料	財団の既定保険金額に係る保険料
学会参加費	実費 (修士課程で年間 10 万円限度)
通学定期券	実費

2) 日本人奨学生

前年度までの採用者については、平成 21 年度採用者は、現地での研究を終了し、帰国した。平成 22 年度奨学生 2 名は、ジャワ島バンドン市及びバリ島でそれぞれ研究を続ける予定である。当事業年度の新規採用者 2 名は、8 月に渡航し、それぞれジャワ島中部及びバリ島で現地での勉学、研究を開始する。従って、当事業年度は 4 名に対し奨学金を支給する。

当事業年度の支出明細

イ. 平成 22 年度奨学生	192 万円 (2 名)
ロ. 平成 23 年度奨学生 (新規採用者)	216 万円 (2 名)
小計	408 万円

なお、現地で勉学、研究する日本人青年に対し、当財団が渡航から帰日までの 2 年間に支給する奨学金総額は、約 243 万円に達する見込みである。

渡航費 (往復)	エコノミークラス航空運賃
支度金	2 万円
奨学金	192 万円 (月額 8 万円×24 ヶ月)
海外旅行死亡傷害保険料	19 万円

(インドネシアで研究調査を行う日本人奨学生に対し 2 年間に支給する奨学金総額は、約 243 万円の見込みである。)

2. 学術文化交流事業

財政上の理由により予算を計上しない。

3. 公益団体助成事業

多数の留学生在が利用する学生寮を運営する財団法人日本力行会 (力行会館)、財団法人公益法人協会、留学生奨学団体連絡協議会 (J I S S A) の年会費を計上する。

4. 活動資金関係

満期が到来する投資有価証券については、安全性と収益性を十分に吟味して効率的な運用を図るとともに、当事業年度に不足する事業及び管理資金については寄付支援先に対し支援強化を働きかける。

5. その他

1) 平成 24 年度 (2012 年度) 奨学生の募集活動をインドネシア及び日本両国で平成 23 年 8 月から開始する。

- 2) 平成 23 年度採用のインドネシア人奨学生に対し、志望校の修士入試日程等を調査し、日本語学校及び大学院（研究生及び修士課程）への出願等の諸手続き、在日中の保証人として在留資格認定証明書交付の代理申請及び証明書の取得、本人への送達、来日後の宿舎の手配等を行い、奨学生が所期の目的を達成できるよう受入支援活動を行う。
- 3) 来日した東京圏のインドネシア人留学生に対しては、毎月 1 回は事務所に呼び面談するなど密接な連絡を保ち、随時、滞在資格更新手続き及び生活面での支援・指導を行う。
- 4) 日本人奨学生に対し、新規採用者については過去の奨学生の経験を紹介し、インドネシア調査・研究許可の取得の支援を行う。渡航した奨学生については、インドネシア滞在中の定期的な通信を通して現地の生活や研究活動についての報告を求め、研究状況を把握する。
- 5) 忘年会（インドネシア人奨学生、在日インドネシア人奨学生 OB、日本人奨学生 OB 及びその家族を対象とし平成 23 年 12 月に開催予定。）及び送別会（修士課程を終了するインドネシア人奨学生及びその指導教授をゲストとして招く。平成 24 年 3 月に開催予定。）を行う。

以上

財団法人 インペックス教育交流財団
収支予算書
(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	当期予算額	前期(変更)予算額	増 減	備考
I.事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
(1) 基本財産運用収入				
基本財産利息収入	19,000,000	19,000,000	0	
(2) 特定資産運用収入				
奨学資金積立資産利息収入	8,000,000	8,600,000	△ 600,000	
(3) 寄付金収入				
寄付金収入	15,000,000	0	15,000,000	
(4) 雑収入				
雑収入		0	0	
事業活動収入計	42,000,000	27,600,000	14,400,000	
2 事業活動支出				
(1) 事業費支出				
奨学金事業費支出	30,480,000	35,310,000	△ 4,830,000	
学術文化交流事業費支出	0	0	0	
公益団体助成事業費支出	300,000	300,000	0	
会議費支出	300,000	300,000	0	
旅費交通費支出	1,300,000	1,300,000	0	
通信運搬費支出	70,000	70,000	0	
印刷製本費支出	250,000	250,000	0	
広報経費支出	300,000	300,000	0	
雑費支出	200,000	200,000	0	
計	33,200,000	38,030,000	△ 4,830,000	
(2) 管理費支出				
役員報酬支出	2,400,000	2,400,000	0	
給料手当支出	4,000,000	15,000,000	△ 11,000,000	
会議費支出	200,000	200,000	0	
旅費交通費支出	100,000	100,000	0	
通信運搬費支出	30,000	30,000	0	
印刷製本費支出	50,000	50,000	0	
広報経費支出	100,000	100,000	0	
租税公課支出	100,000	100,000	0	
雑費支出	1,820,000	1,000,000	820,000	
計	8,800,000	18,980,000	△ 10,180,000	
事業活動支出計	42,000,000	57,010,000	△ 15,010,000	
事業活動収支差額	0	△ 29,410,000	29,410,000	
II.投資活動収支の部				
1 投資活動収入計				
奨学資金積立資産取崩収入	0	35,000,000	△ 35,000,000	
2 投資活動支出計				
奨学資金積立資産取得支出	0	0		
投資活動収支差額	0	35,000,000	△ 35,000,000	
III.財務活動収支の部				
1 財務活動収入計	0	0	0	
2 財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV.予備費支出	1,000,000	1,000,000	0	
当期収支差額	△ 1,000,000	4,590,000	△ 5,590,000	
前期繰越収支差額	19,473,295	14,883,295	4,590,000	
次期繰越収支差額	18,473,295	19,473,295	△ 1,000,000	